

戸ヶ崎香取神社「獅子舞の祭礼」の準備を手伝ってきました！

三郷市戸ヶ崎 2-38-1
048-955-0652



私たち、実は夏にお祭りのお手伝いをしたんだよね。
お手伝いしたのは、戸ヶ崎にある「戸ヶ崎香取神社」の「獅子舞の祭礼」の準備。

「獅子舞の祭礼」は、戦国時代（1582年）から430年以上（2015年7月現在）続いているという伝統的なお祭りで、市指定文化財でもあるんだよ。毎年、7月第1日曜日を含む金、土、日の三日間、三郷市戸ヶ崎の香取神社で行われていて、悪病退散、五穀豊穡を祈って、大獅子・中獅子・女獅子の「三匹の獅子」が、笛に合わせて太鼓を打ちながら舞い続けるのが、すごい迫力なんだよ。神社の境内には、昔ながらの露天商もびっしり並んで、たくさんの人で夜遅くまでにぎわうの。

準備は、祭一週間前の日曜日。
総勢100名。10代から70代と幅広い年代が集合！

このお祭りは、準備から、舞子、笛手にいたるまで全て男性によって行われるのが伝統。なので集まるのも全員男性なの。つぶちゃん、お手伝いよろしくね。



「この地域の男たちは、皆、この祭りが好きで、今では舞子が増えているくらい」と語るのは、獅子舞保存会の会長篠田さん。
獅子舞保存会、氏子会など、各団体が参加し、準備の一日、祭礼の三日間、そして翌日の片付けと、仕事を休んででも祭礼を作り上げるそう。



獅子舞の着物や装飾品などを作るのも男の仕事！
獅子が持つ太鼓に、太い針と太い糸で布を縫いつけます。



「獅子がどんなに舞っても落ちないようにしっかり縫う。これは力が要るんだよ」
獅子をかぶるのは、かなりきつい役目。
女獅子は小学生男子、中獅子、大獅子は45歳くらいまでの男性が舞子になるの。
ひたすら首を振りながら踊るのは大人でも辛い！
「3匹の獅子は、我々の世代から、二代三代と引き継がれている。これからも、この祭りをきちんと受け継いでいきたい」と獅子舞保存会のみなさん。伝統を守る姿勢にあって！



獅子舞保存会（左から）
副会長：成島さん 会長：篠田さん 副会長：加藤さん 副会長：鈴木さん